

令和6年第5回教育委員会定例会 会議録

1 開催日時 令和6年5月16日（木）午後1時30分～午後1時55分

2 開催場所 春日井市役所9階 教育委員会室

3 出席者

【教育長】 児島 靖

【委員】 河合 香吏

【委員】 竹田 卓弘

【委員】 浅井 敦臣

【委員】 向 文緒

【事務局】 教育部長

森本 邦博

いきがい創生部長

大橋 弘明

教育総務課長

中山 一徳

同 課長補佐

田之上 愛子

同 担当主査

砂田 恭平

同 主任

倉知 美香

学校教育課長

前原 敦

同 主幹

梶田 英男

同 指導主事

湯浅 公

同 課長補佐

梶原 和行

学校給食課長

加藤 純也

文化財課長

北野 将好

野外教育センター所長

生倉 勉

同 主幹

坂野 年伸

いきがい推進課長

大野 利重

文化スポーツ振興課長

田中 芳樹

図書館長

四ツ倉 光一

4 報 告

(1) 令和6年度教育に関する事務の点検及び評価について

5 議事概要

教育長

本日の傍聴者は1名です。

教育長

春日井市教育委員会会議規則第6条第2項の規定により、会議録署名人は、河合委員を指定。

教育長
(報告事項)

令和6年度も1か月が過ぎました。様々な組織や事業が順調にスタートしております。学校においては、中学校の野外学習・修学旅行が始まり、小学校も昨日より少年自然の家での野外学習が始まりました。この後、順次各校が実施していく予定です。

5月1日に研究開発学校である高森台中学校と出川小学校で文部科学省の視察がありました。一人一台端末を活用した授業を参観していただき、その後、意見交換会を行いました。5月23日に勝川小学校、24日に高森台中学校、6月6日に藤山台中学校、14日に藤山台小学校が、全国の先生方に向けて校内研究会を公開する予定です。

今年度の連休は前半3連休・後半4連休と離れており、平日には雨も降りましたが、休日は好天に恵まれ、多くのイベントを無事に終了することができました。教育委員会においては、4月29日から5月5日、植物園・少年自然の家を会場に、緑と花のフェスティバルを開催しました。平日は雨が降ったり止んだりの不安定な天気だったため、来場者は、昨年度より約4,000人少ない28,500人でした。来場された方々は、瑞々しい新緑や華やかに整備された花壇を眺めたりステージのイベントに参加したりするなどして楽しまれていました。また、5月11日に第26回内津文化財祭を内々神社で開催しました。好天に恵まれ、開会式に続き、無形民俗文化財「棒の手」の披露と春日井不二太鼓による和太鼓の演奏が行われました。こちらは延べ500人が参加しました。

今年度も小学生の男鹿市交流学习を実施します。昨年度参加学校でなかった学校番号の偶数の学校から18名が参加し、8月5日から7日までの2泊3日の日程で行う予定です。男鹿市からは、例年どおり春日井まつりに合わせて訪問していただくことになっています。

今年度の学校訪問は5月23日の味美中学校から始まり、委員の皆様には、午前中2時間の授業を見ていただきます。

教育長	1 報告 (1) 令和6年度教育に関する事務の点検及び評価について
教育総務課長	資料に基づき「令和6年度教育に関する事務の点検及び評価」について説明。
向委員	事務点検の評価シートの中に、タブレット端末の管理について規則を定めているか、タブレット端末の管理についての教育をしているかという内容は含まれているのか。
学校教育課主幹	タブレット端末を導入した時に、タブレット端末の管理等について学校から保護者にお知らせしており、また、入学して来る子どもには毎年お知らせする等、管理についての取組みは行っている。
教育総務課長	タブレット端末の管理等の項目は評価シートにはない。
向委員	インターネット依存とかゲーム依存とか、そういったものに対する自己管理能力向上のための教育がどの程度できているか、評価できると良い。
教育長	ネットモラルの教育は学校で行っているが、それを評価することは難しいところである。
向委員	保護者からの意見にどう対応しているか、ルールがしっかり守られているか等も評価の観点としてあると、そういうことを意識するようになるのではないかと思う。
教育総務課長	何を以て評価するかという問題もあるが、評価シートを作成する際に、そういった観点も踏まえ作成する。
竹田委員	「タブレット端末」はクロームブックのことでよいか。
教育総務課長	そのとおりである。
竹田委員	i P a d とは異なるということか。

教育長	i P a d と基本的な機能は同じである。始めからキーボードが付いているか後付けかの違いである。 キーボードで入力できるようになることが大事なので、春日井市では、キーボードが付いているクロームブックを採用している。
河合委員	端末は市町によって違うと思うが、中身は恐らく同じである。また、高校や塾でもタブレット端末が配付されキーボード入力の練習をしたりしている。
向委員	課題によってはタブレット端末を家に持ち帰ることもあるということか。
学校教育課主幹	春日井市は、持ち帰りが前提となっている。 ○参考資料について
浅井委員	12ページのスクールサインだが、令和4年度と比較したところ、中学生の「友人の不安」が、令和4年度は57件であったのに対し、令和5年度は101件で、ほぼ倍になっている。 投稿することで問題が解決できることもあり、とても良い事業なので、引き続き学校で周知をしてほしい。
学校教育課長	先週、今年度の I D 等を学校に通知したところなので、今後周知ができると思う。 小学生は令和4年7月から始まり、令和4年度の1か月平均は40件だったが、令和5年度の1か月平均は32件であり、相談件数は減っている。中学生は、年間合計が令和4年度は83件、令和5年度は133件であり、50件増加している。「友人の不安」が増加しているため、今後分析していけたらと思っている。
河合委員	解決に導いた、継続的な観察が必要等、投稿後の状況はどのようなになっているか。学校に任せているのか。

学校教育課主
幹

解決できる問題ばかりではないが、投稿があった際は必ず学校に
状況を確認しながら対応を進めている。

上記のとおり、議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、
教育長及び指定された会議録署名人が署名する。

令和6年6月25日

教育長 児島 靖

署名人 河合 香吏